

地域と職域の健康づくり推進部会 の取組み

京都府山城南保健所
保健室 堀

管内の概況

○面積 263.43km²

○人口 110,103人 出生率 10.4

高齢化率 16.6%

平成18年人口動態統計（高齢化率は平成17年国勢調査）

○京都府の最南端に位置する1市3町1村を管轄。京都市、大阪市、奈良市及び伊賀市の経済圏に比較的近い。

○西部地域は関西文化学術研究都市開発等に伴い、人口増加が著しい。これに比し、東部地域では過疎化、高齢化が進んでいる。

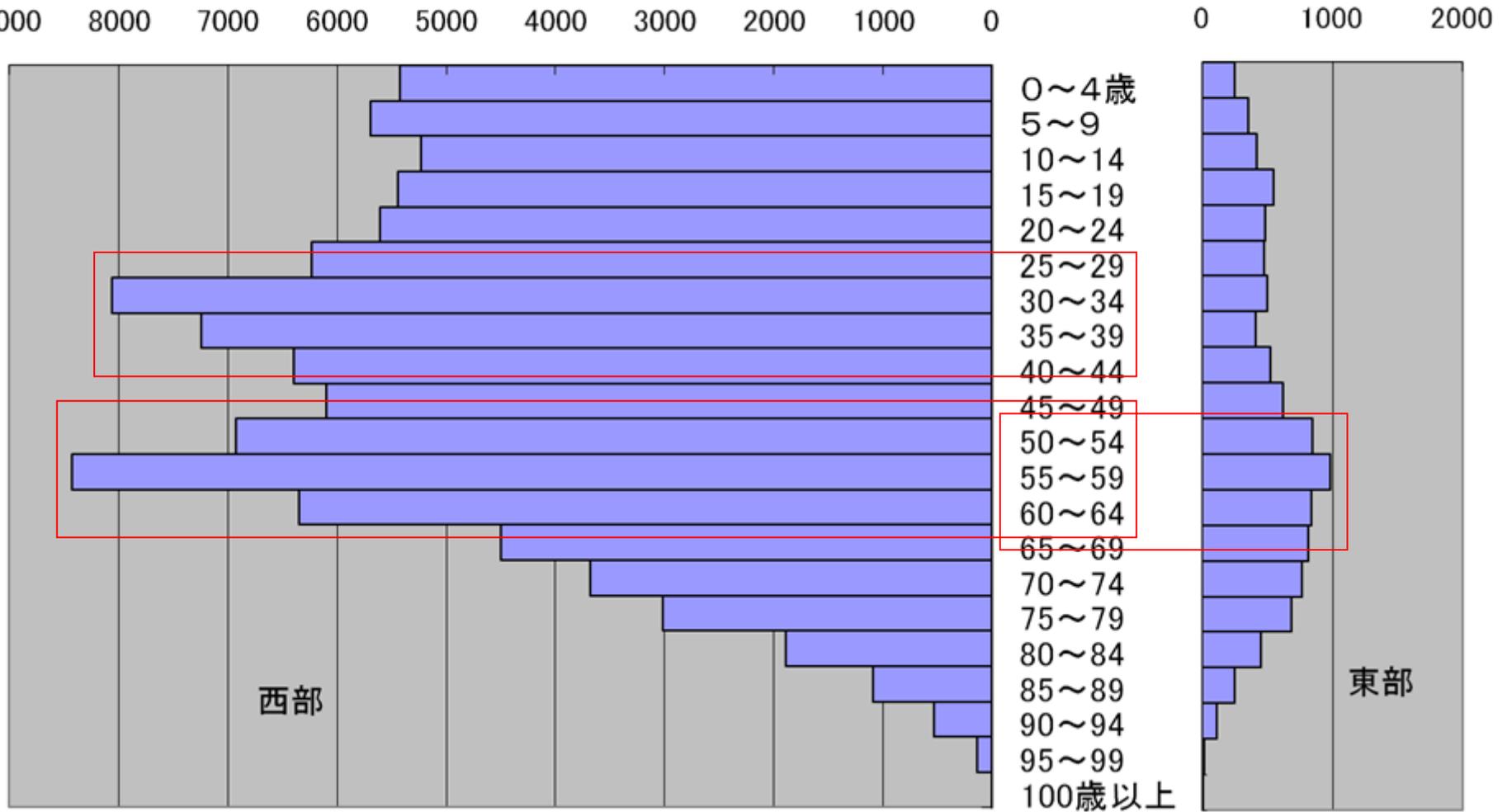
○国保加入率は西部地域では3割弱、東部地域では5割。

○従業員50人未満の事業所比率は98.4%。（H18事業所企業統計）

山城南保健所管内



管内の人口構成



平成17年度国保レセプトから見た有病率

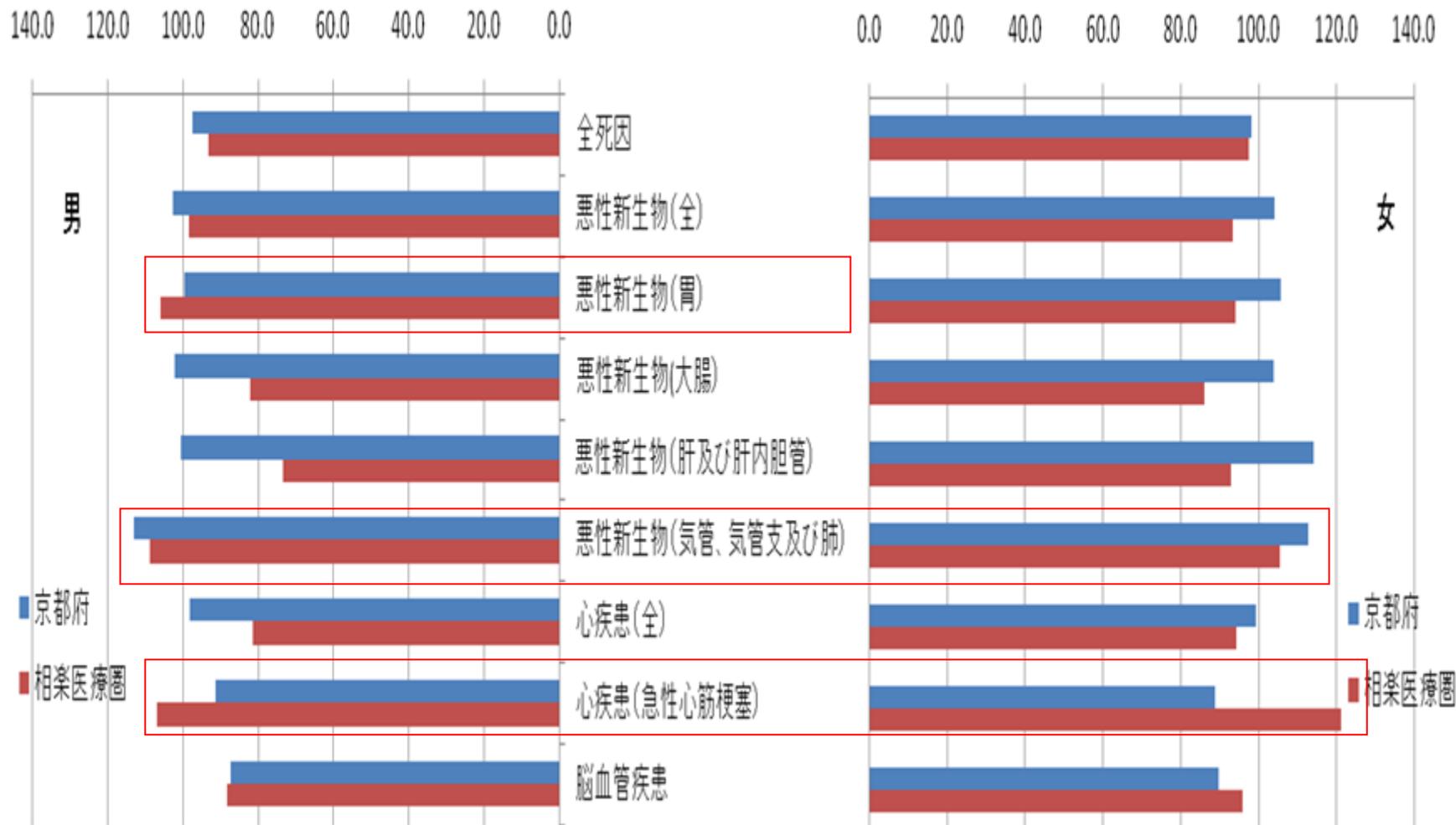
入院(一般・退職者)

通院(一般・退職者)

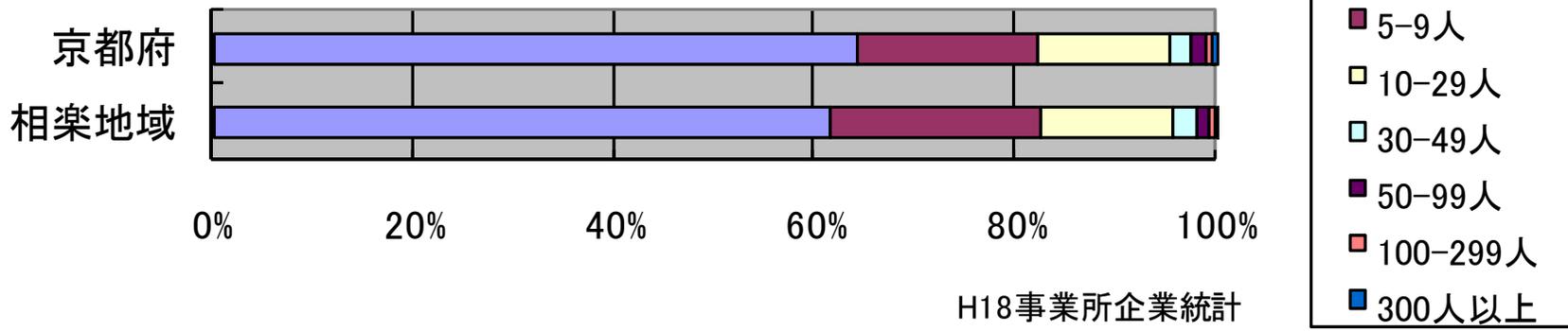
	1位	2位	3位
京都府	精神疾患	その他悪性新生物	糖尿病
山城町	精神疾患	肝がん	大腸がん
木津町	精神疾患	肺がん	その他悪性新生物
加茂町	精神疾患	消化器疾患	糖尿病
笠置町	糖尿病	精神疾患	ウイルス肝炎
和束町	胃潰瘍	骨折	精神疾患
精華町	その他悪性新生物	精神疾患	その他心疾患
南山城村	糖尿病	気分障害	骨折

	1位	2位	3位
京都府	高血圧性疾患	栄養・代謝疾患	糖尿病
山城町	高血圧性疾患	糖尿病	栄養・代謝疾患
木津町	高血圧性疾患	糖尿病	栄養・代謝疾患
加茂町	高血圧性疾患	眼疾患	糖尿病
笠置町	高血圧性疾患	栄養・代謝疾患	糖尿病
和束町	高血圧性疾患	糖尿病	視力障害
精華町	高血圧性疾患	糖尿病	皮膚疾患
南山城村	高血圧性疾患	栄養・代謝疾患	眼疾患

主要死因別標準化死亡比(H10-14)

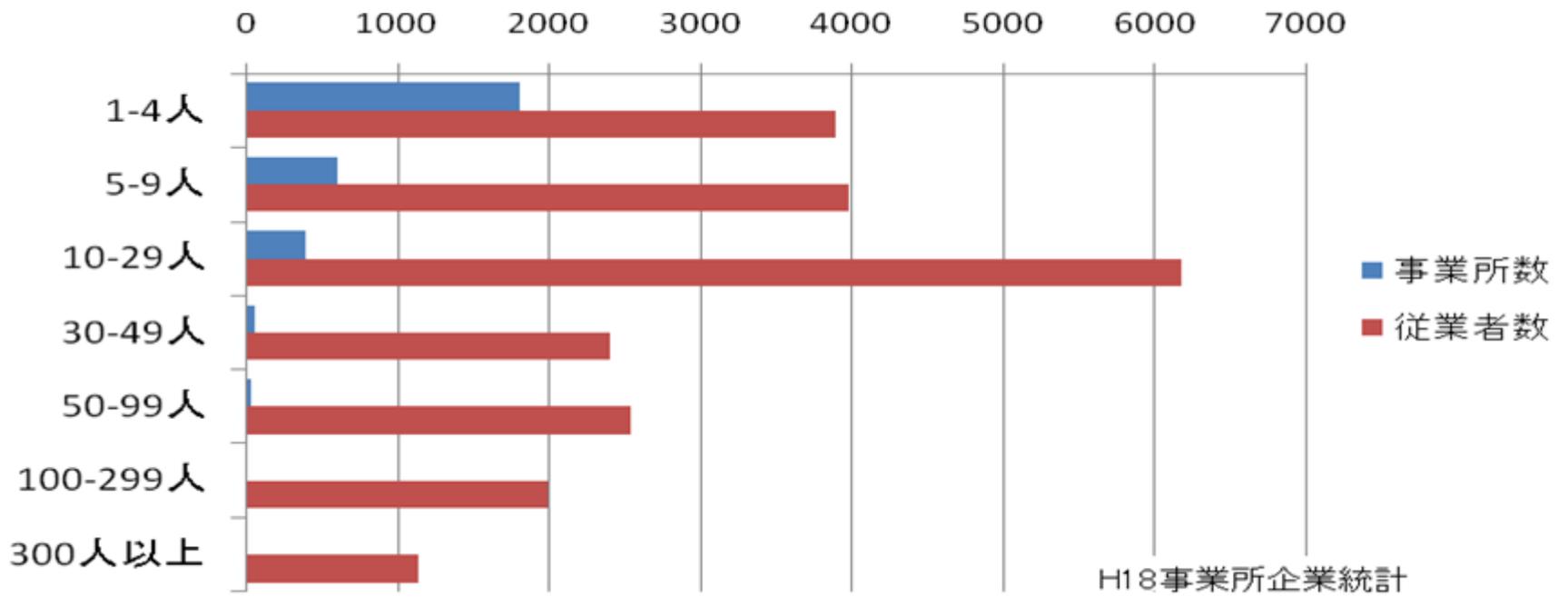


地域別、従業員規模別事業所数の構成比



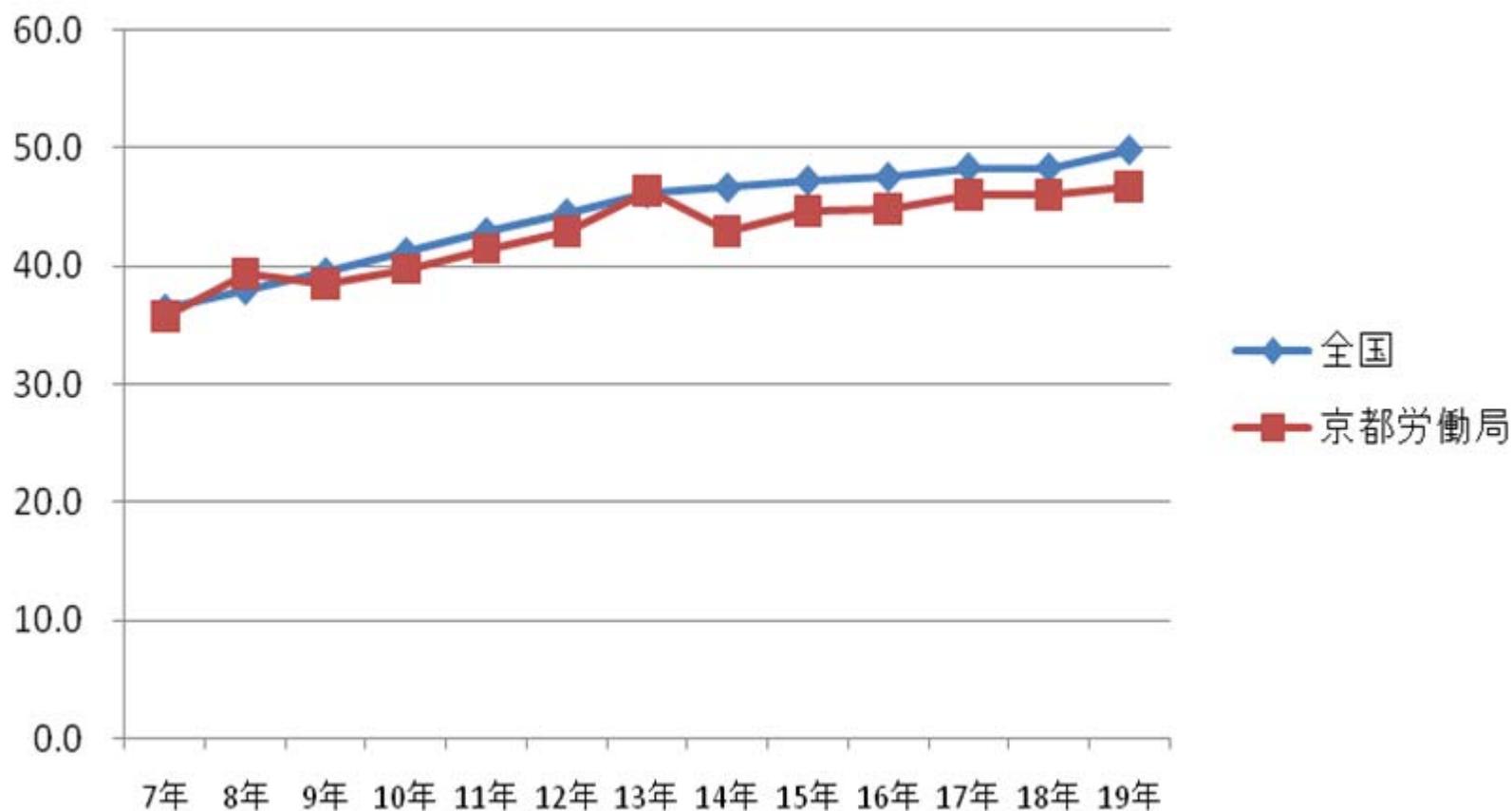
H18事業所企業統計

相楽地域の従業員規模別事業所数及び従業員数



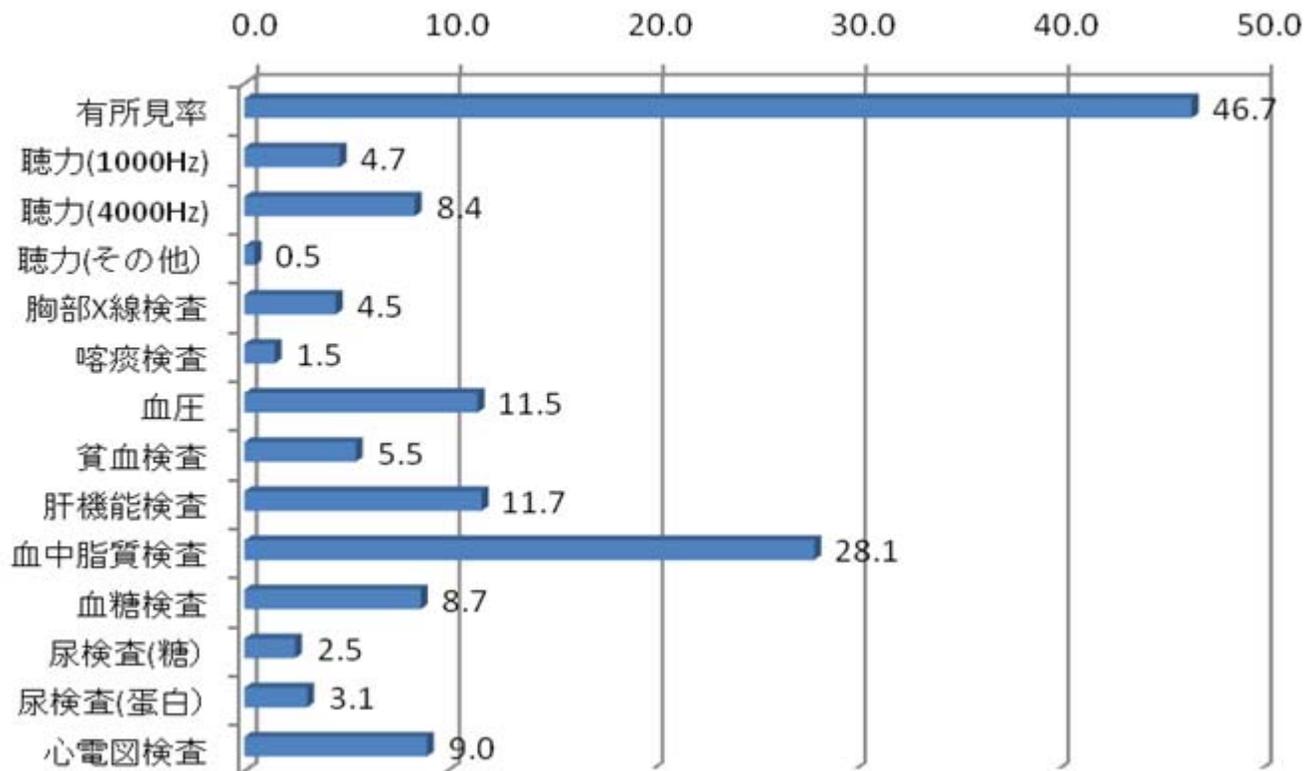
H18事業所企業統計

定期健康診断有所見率(%)の推移



2008 京都の労働災害の現状(京都労働局)

検査項目別有所見率(%) 平成19年度(全産業)

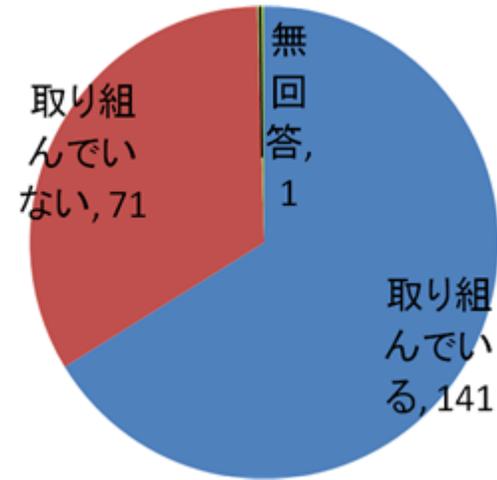


2008 京都の労働災害の現状(京都労働局)

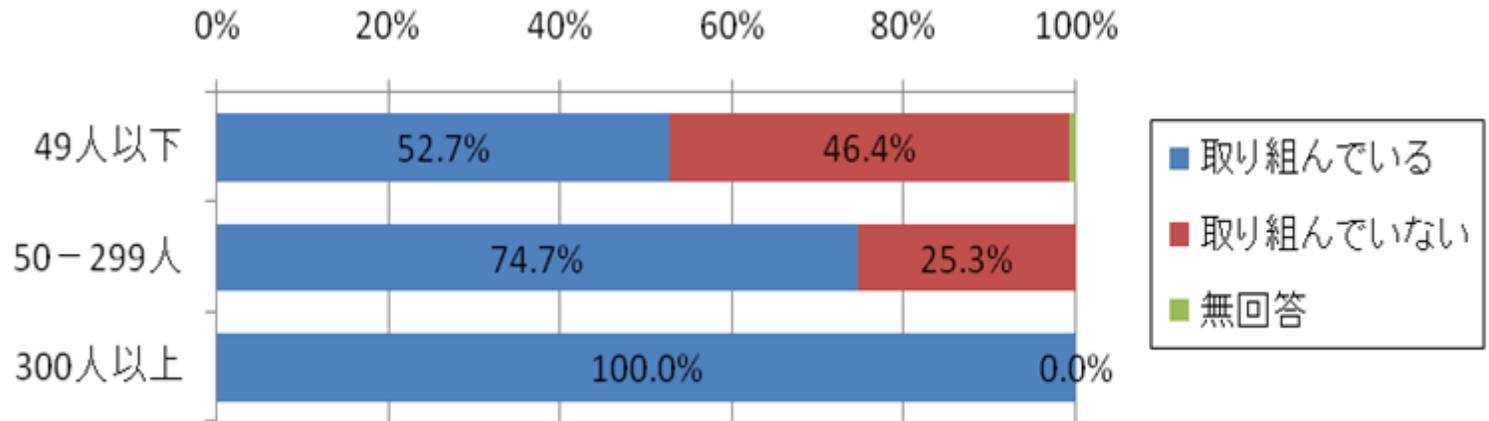
平成19年の定期健康診断の有所見率は46.7%となっており、検査項目別では生活習慣病に関連する「血中脂質」「肝機能」「血圧」の順に有所見率が特に高い。(2008 京都の労働災害現状—京都労働局—)

事業所の健康づくりの取組み状況

健康づくりに取り組んでいるか



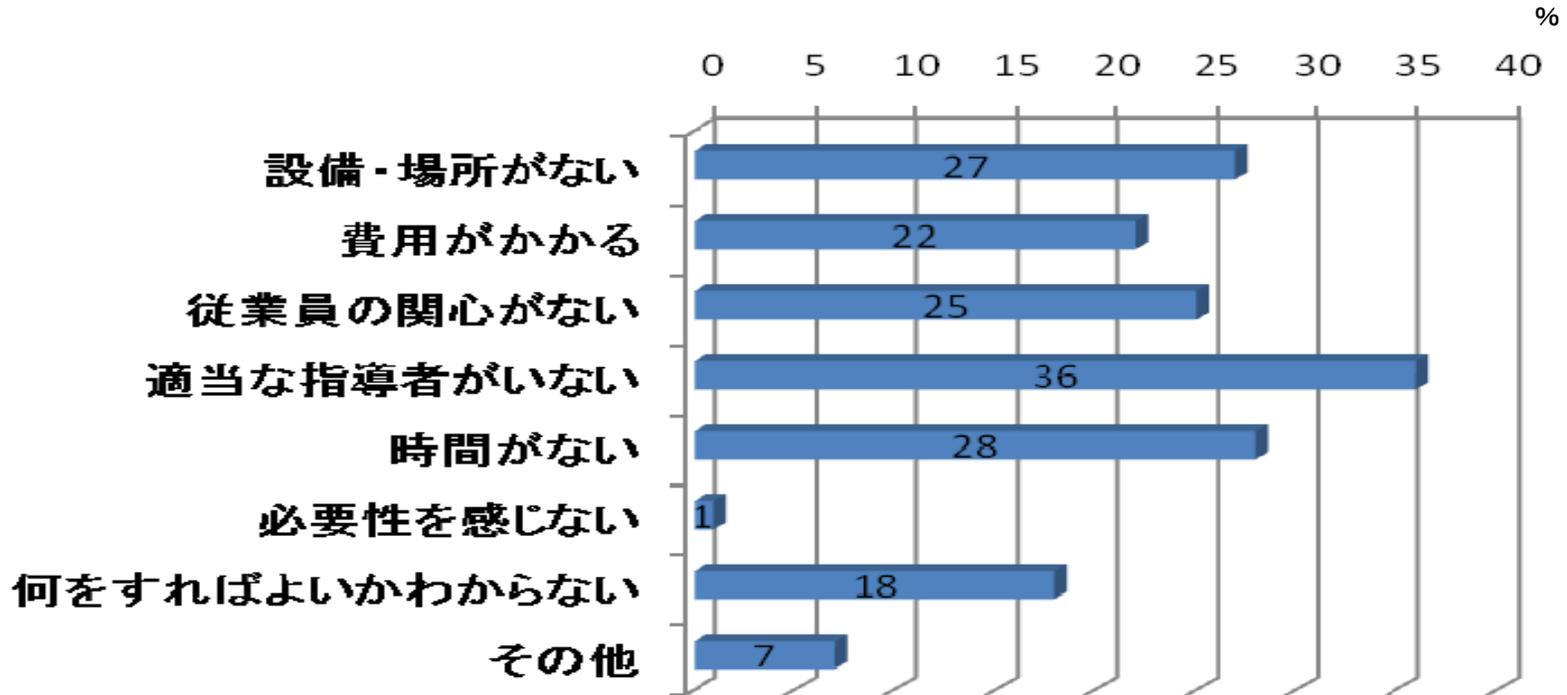
従業員数別 健康づくりに取り組んでいるか



山城地域職域健康づくりアンケート結果より
～団塊の世代の健康づくり事業～

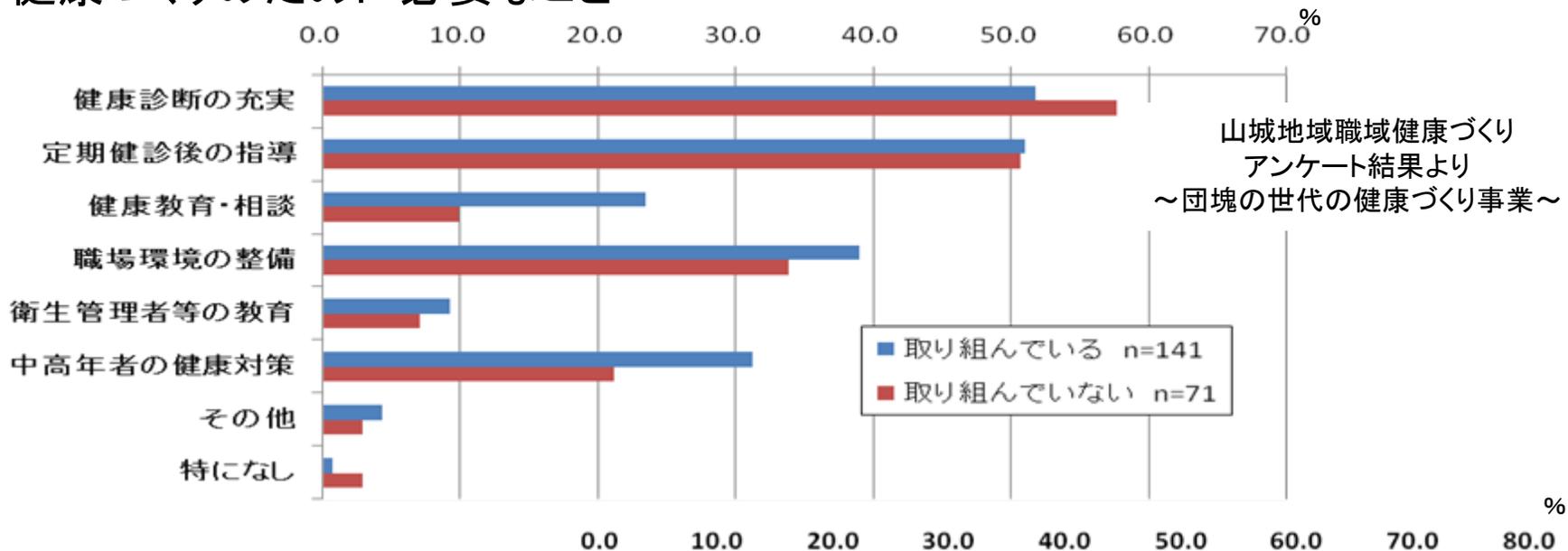
n=213

健康づくりに取り組んでいない理由 n=71

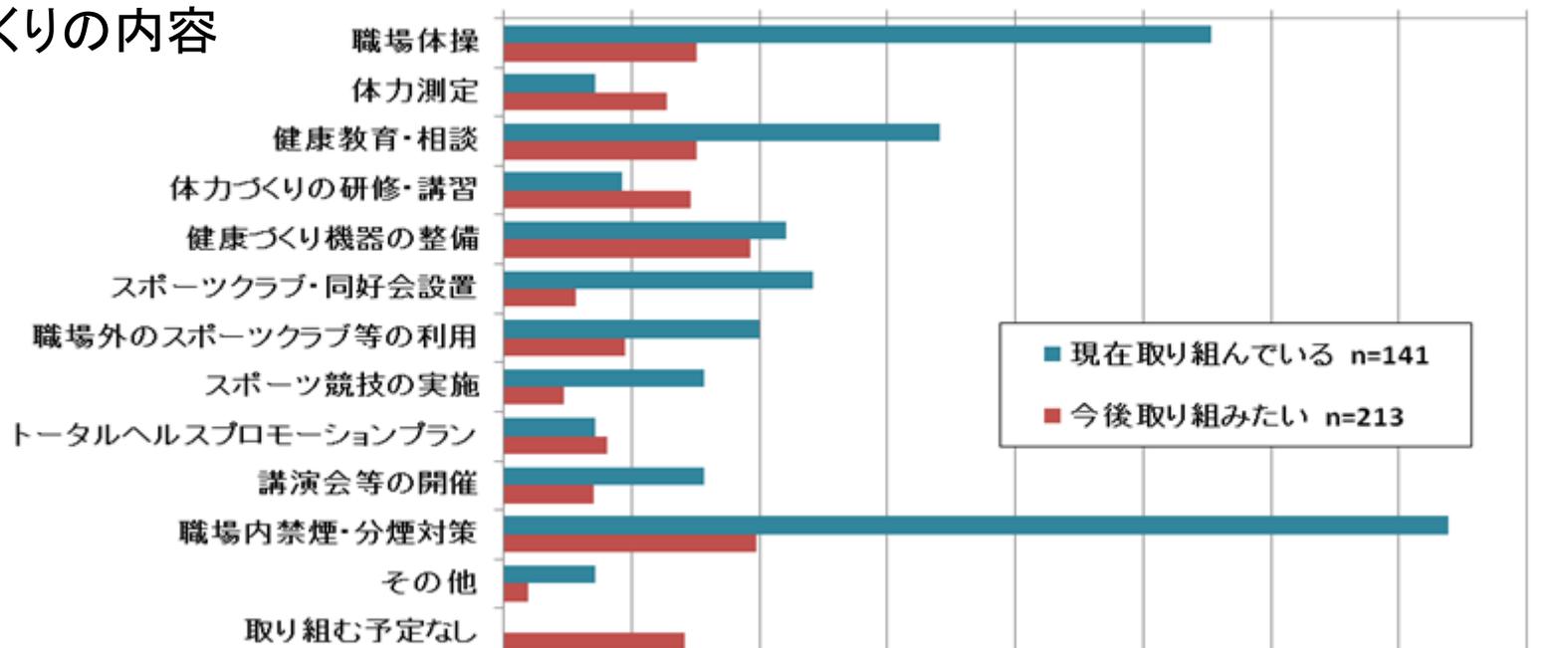


山城地域職域健康づくりアンケート結果より
～団塊の世代の健康づくり事業～

健康づくりのために必要なこと



健康づくりの内容



地域と職域の健康づくり推進部会 (きょうと健康長寿推進山城南地域府民会議)

事業内容

1 部会の開催

2 連携・協働事業の実施

- ・働く方と家族のための「いきいき健康づくりフォーラム」
- ・せいか祭り（精華町産業祭）における健康相談
- ・事業所を対象としたトップセミナー、健康出前講座

きょうと健康長寿推進山城南地域府民会議

- 健康ウォーキングの開催
- 健考ニュースの発行
- 食情報提供事業の実施
- 健診受診促進キャンペーンの実施
- 食育に関する取組

きょうと健康長寿山城南
地域府民会議総会

歯科保健部会

- 部会の開催
- 研修会の開催
- 普及啓発媒体の作成、活用

喫煙対策部会

- 部会の開催
- 普及啓発媒体の作成
- 防煙研修会の実施
- 禁煙セミナーの実施

地域と職域の健康
づくり推進部会

- 部会の開催
- 協働連携事業の実施

地域と職域の健康づくり推進部会 構成団体

地域

- ☆各市町村
（保健・国保担当）
- ☆保健所

職域

- ☆相楽郡商工会連絡協議会
- ☆JA京都やましろ
- ☆京都南地域産業保健センター
- ☆京都南労働基準監督署
- ☆相楽食品衛生協会
（☆（社）相楽医師会（産業医））

- ☆（社）相楽医師会
- ☆公立山城病院
- ☆（財）社会保険健康事業団
京都府支部
- ☆山城歯科医師会

医療・健診等機関

地域と職域の健康づくり推進部会の歩み

- H17 京都南産業保健センターから「働き盛り層のメンタルヘルスケア支援事業」に対する協力依頼があり、メンタルヘルスセミナーを後援・協力
(京都府山城地域振興計画「団塊の世代の健康づくり」プラン策定)
(H18.3 「山城地域職域健康づくりアンケート」実施)
- H18 地域・職域連携推進協議会の開催にむけて準備開始 (所内での合意形成、委員の選定、初回の内容検討)
- H18.9 連携協働事業「いきいき健康づくりフォーラム」の協働企画・実施
- H18.11 連携協働事業「せいか祭りにおける健康相談」の協働実施
- H19.3 きょうと健康長寿推進山城南地域府民会議の部会として「地域と職域の健康づくり推進部会」発足 (研修会の開催)

18年度地域と職域の健康づくり推進部会 内 容

1 部会の開催

(1) 内容

①研修

「医療制度改革に伴う地域保健・産業保健の連携のあり方を考える」

講師 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
教授 荒木田美香子先生

②協議・情報交換

地域・職域の健康実態の共有

③部会事業の提案

(2) 出席者

各構成団体	12名
事務局(保健所)	7名
オブザーバー	1名

初回の部会で共通認識したこと ～研修会をふまえて～

- ◆医療制度改革後の生活習慣病対策の推進体制とは
- ◆保険者協議会の役割と、地域・職域連携推進協議会の役割
保険者協議会はハイリスクアプローチ、地域・職域連携推進協議会はホピュレーションアプローチ
- ◆地域・職域連携推進協議会 二次医療圏協議会の役割
 - ・地域保健、職域保健、関係団体による健康課題の明確化
 - ・各構成機関の役割の確認と推進
 - ・情報の収集、健康意識調査などによるニーズ把握
 - ・健康づくりに関する社会資源の情報交換、有効活用、連携調整
 - ・都道府県協議会との連携
 - ・具体的な事業の企画・実施・評価の推進

初回の部会で共通認識したこと ～研修会をふまえて～

☆二次医療圏協議会の活動事例

<初年度>

- 各機関の役割の明確化と相互理解
- 健康課題の明確化と対策の検討
- ワーキングを作って、実際的な活動
- 事業者に向けたパンフレット作りとそれを活用した情報の伝達
- フォーラム・講演会
- ホームページ、メールマガジン

<次年度以降>

- 事業所の健康づくりのための情報マップの作成
- 健康づくり活動優良事業所の表彰
- 保健スタッフの研修事業
- モデル事業による、小規模事業所の健康づくり活動の展開

18年度地域と職域の健康づくり推進部会 明らかになった課題

【労働保健】

- 1 京都南地域は、労働災害ワースト1の地域である。
- 2 定期健診の有所見率が上昇している（管内の有所見率 45.0%）
- 3 過労自殺増加、定期健診受診率増加への対策が必要。
最重要は、過労死、過労自殺の予防（特に小規模事業所（製造業・運送業・建設業）における労働時間管理）
- 4 50人以上の事業所の課題
 - ・・・従業員の個別健康課題の把握ができていない50人未満の事業所の課題
 - ・・・健診未受診者が多い。健診内容が不十分。
健康相談受診率が低い。

【地域保健】

- 1 健診受診率向上に対する働きかけが課題
- 2 健診受診後の事後指導を受ける率をいかに上げるか
- 3 健康増進の取組を進める中で、国保加入者の健康実態を改善していくことが必要

19年度地域と職域の健康づくり推進部会 事業内容

1 部会の開催

(1) 内容

①部会長の選出

②「地域・職域連携推進事業ガイドラインー改訂版ー」の共有

③協議

- ・各団体からの報告

- ・地域・職域の健康情報からみた課題の共有（保健所から情報提供）

④協働事業の提案

(2) 出席者

各構成団体 17名

事務局(保健所) 4名

オブザーバー 1名

19年度地域と職域の健康づくり推進部会 事業内容

2 連携協働事業の実施

(1) 健康づくりフォーラムの開催

日時：平成19年9月6日(木)

場所：タッチワンセンター

内容：①講演「働き盛りのメンタルヘルスケア」
「メタボリックシンドロームと心臓病」

②各種測定

腹囲・体脂肪・血管年齢・呼気中一酸化炭素濃度

参加者：69名

協働団体：京都南労働基準監督署、京都南労働基準協会、
京都産業保健推進センター、相楽郡商工会連絡協議会、
(社)相楽医師会、京都南地域産業保健センター

19年度地域と職域の健康づくり推進部会 事業内容

(2) 産業まつりでの健康相談

日時：平成19年11月18日（日）

場所：けいはんな記念公園

内容：①健康づくりコーナー

②メタボリック予防（計測・健康相談） ③禁煙相談

参加者：152名

協働団体：（社）相楽医師会、町、京都南地域産業保健センター、京都工場保健会

(3) 事業所を対象とした健康出前講座

①働き盛り歯周病予防啓発事業

協働団体：事業所事業主、山城町商工会、山城歯科医師会

内容：◆健診・相談 13事業所（159名）

◆歯周病予防セミナー 1事業所（10名）

②禁煙サポート教室（ノースモーキングのまちづくり事業）

協働団体：事業所事業主

内容：禁煙サポート教室 4事業所（126名）

20年度地域と職域の健康づくり推進部会 事業内容

1 部会の開催

(1) 情報提供

「医療制度改革と特定健診・特定保健指導」

(2) 情報交換

「今年度の健診実施状況」

各市町村、商工会、社会保健事業財団、医師会等

(3) 部会事業の提案と協議

健康資源情報調査の実施について

2 連携協働事業の実施

(1) 健康づくりフォーラムの開催

(2) 産業まつりでの健康相談

(3) 事業所を対象とした健康出前講座

20年度地域と職域の健康づくり推進部会 会議内容

◇特定健診・特定保健指導について、地域・職域の進捗状況・課題等の情報交換をすることができた。

- ・健診の認知度が低く、対象者（現場）が混乱している。
- ・社保の被扶養者の健診の質の低下（受診場所が限定される、政管健保ではこれまでの検診項目からがん検診等が削除）、それによる受診率低下が問題。
- ・保健指導では、制度の説明に時間を費やす必要があるため、逆に質が低下する恐れがある。

◇以上より、健診の内容と必要性について周知すること及び、効果的な保健指導のため、保健指導従事者を支援する必要がある。

地域と職域の健康づくり推進部会（会議及び連携協働事業）の成果と課題（１）

◇ 地域全体の健康課題の把握と評価・分析

地域と職域が、それぞれ別々に把握していた健康づくりの課題を、部会や連携協働事業実施の中で、協議・共有することができた。今後、経年的に健康課題を分析するシステムの構築が必要。

◇ 地域と職域の連携協働体制の構築

健康づくり事業の企画・運営・評価を、ともに実施することを通して、連携協働体制が構築できた。

さらに、それぞれの機関が主体的に取り組めるよう、ワーキンググループ等による会議の運営が必要。

地域と職域の健康づくり推進部会（会議及び連携協働事業）の成果と課題（2）

◇ 働き盛り世代からの健康づくり対策の推進

・生活習慣病予防等に関する知識の普及

健診後の事後指導は十分されていないという現状があったが、出前講座として事業所に出向くことによって、従業員が参加しやすくなり、より多くの従業員に対して健康づくりの動機付けが図れた。今後も出前講座を継続することが必要。

・健診受診率向上への働きかけ

健診受診率が低いことから、健診に関する普及啓発の実施が必要。

・事業所としての健康づくり対策推進の支援

勤務時間中にセミナーを実施することについて理解を得ることは困難な事業所も多く、職域において健康づくりに取り組むか否かは、事業主の考え方によって左右される。継続的に事業主に働きかけることが必要。

健康出前講座の事業主との共同企画

京都府「職場で取り組む健康づくり表彰」の実施（新規事業）

地域と職域の健康づくり推進部会（会議及び連携協働事業）の成果と課題（3）

- ◇ 保健指導に関する環境整備
 - ・ 健康資源情報リストの作成
 - 個人、保健指導従事者が必要な情報・資源を活用できるよう、健康づくりに関する地域・職域の資源を調査し、資源リストを作成。
 - ・ 保健指導従事者研修
 - 特定健診・特定保健指導従事者研修
 - 禁煙指導者研修

- ◇ 生涯を通じた健康づくりの継続的な支援のための体制整備